



WOMEN IN DATA SCIENCE
@ STANFORD UNIVERSITY

Women in Data Science (WiDS)

日本初! 小野陽子准教授がアンバサダーに就任

横浜市立大学データサイエンス推進センターの小野陽子准教授が、日本国内で初めて「Women in Data Science(以下、WiDS)」のアンバサダーに就任しました。(平成 30 年 10 月 30 日付)

WiDS とは、米国スタンフォード大学の ICME(Institute for Computational & Mathematical Engineering)を中心とした世界的な活動で、性別に関係なくデータサイエンス分野で活躍する人材を育成することを目的としています。年に一度、スタンフォード大学で行われる中央大会には、ストリーミング視聴も含め、約 10 万人が参加。これと並行して、これまでに 50 以上の世界各国で WiDS を冠したシンポジウム等の地域大会が行われており、アンバサダーはこの地域大会の企画・実施およびデータサイエンティストの活動を全般的にサポートする役割を担うために、任命されるものです。

小野准教授は、スタンフォード大学 ICME との連携のもと、WiDS を冠したシンポジウム“WiDS Tokyo@Yokohama City University”を 2019 年 3 月に開催する予定※で、現在、準備を進めています。

横浜市立大学は、本年 4 月に首都圏初のデータサイエンス学部を新設し、データサイエンス人材を育成。2017 年、2018 年と DS 女子企画と題し、企業でデータサイエンスの業務に携わる女性パネリストに登壇いただき、トークセッションを実施するなど、広くデータサイエンスへの興味を喚起するイベントを行っています。本学データサイエンス推進センターは、小野准教授とともに、WiDS の活動を全面的に推進していきます。



小野 陽子(おのようこ)プロフィール
横浜市立大学 データサイエンス推進センター/
データサイエンス学部 准教授

東京理科大学工学研究科経営工学専攻博士課程修了後、東京理科大学工学部助手、島根県立大学総合政策学部講師、新潟国際情報大学准教授を経て、2011 年より横浜市立大学准教授。博士(工学)。統計学における計算機集中技法と抽象数学定理自動証明システムの構築を中心に研究を行っている。問診票と電子カルテの関連性や授業満足度など、個人主観に対するデータサイエンスのアプローチを検討中。

※本シンポジウム開催に向け、横浜市立大学データサイエンス推進センターは、産学官の連携を得て、さまざまなデータを利活用しながら新しいアイディアを競う催し(コンペティション)を企画しており、12 月初旬頃に実施要領を公表、募集を開始する予定です。